

特定非営利活動法人



〒360-0002
熊谷市大塚 253-1
TEL/FAX
048-525-9290

代表理事 上原 秀一

多機能型事業所 第 13号 ゆりかご

平成 28年8月発行



メンバーSちゃんの作品

神奈川県障害者支援施設での事件について

7月26日、神奈川県の障害者支援施設において、多数の入所者が殺傷されるという痛ましい事件が発生いたしました。

この件に関して、今後ゆりかごととしては、施設の管理、防犯体制、職員間の連絡体制を含めた緊急時の対応体制強化に取り組むとともに、日頃から関係機関との協力、連携をとりながら、安全の確保に努めたいと思います。

今回の事件では、大きな不安が残ると思いますが、ゆりかごととしてはこれまで通り、地域に根差し、地域と協力しあい、地域に開かれた施設運営を目指していくために努めていきたいと思っています。

今回の事件で亡くなった方々には心からご冥福をお祈いするとともに、ご家族の方々にはお悔やみを申し上げます。けがをされ、いまだ辛い状態にある方々が、一日でも早く回復することをゆりかご一同祈っています。

— 神奈川県 障害者 支援 施設 について —

神奈川の就労支援施設では、とてもとても悲しい事件がおきてしまいましたね。テレビなどでの連日の報道などを見て、不安な気持ちになっていたり、うまく自分の気持ちを伝えられずにいたり、心細い気持ちになっていたりしている方々がいるかもしれません

世の中にはいろいろな考え方や意見があるとは思いますが、これまでゆりかごみんなで共に歩んできて、必要のない出会いは一つもなかったと信じています。そして必要のない命もなかったと信じています。

ゆりかごでは、今までのたくさんの出会いを通じて大切な仲間との天国へのお別れも何度かありました。共に笑い、共に悲しみ、共に歩んできた仲間とのお別れがありました。今までたくさんの大切な思い出を残してくれた仲間がゆりかごにはいました。

一人一人の力は、もしかするとそれほど大きな力ではないかもしれません。でも辛い時、悲しい時、それぞれが抱えている重い荷物を、みんなで少しずつ寄り添いながら背負おうとしてきたから、悲しみが少しずつ笑顔に変わってきつつあるのかもしれないね。

これまでも、そしてこれからも、たくさんの出会いがあると思いますが、ゆりかごで必要のない出会いは一つもないと信じています。そして必要のない命も一つもないと信じています。

1人1人と向き合い“一度しかない人生を豊かなものだ”という思いで仲間も職員も共に歩んでいこうと思っています。

これからもゆっくりゆっくりでいいから、地域の皆さんと手を取り合いながら一緒に歩いて行きましょうね。

ゆりかご代表 上原 秀一

— 総 会 そしてプラスα —

毎年同じに見える総会。

例年と違うのは行政書士さんによるお話しと、
メンバーと職員が老けたこと?!?

そんな中厳かに(?) 始まりました。

来賓に元県議会議員の森田さん（ゆりかごの
第三者委員）にお越しいただき、ご挨拶をいた
だきました。

森田さんは色々なイベントに顔を出してくださいます。
ありがたいです。

行政書士さんには遺産相続のことをお話ししていただき、参加した
メンバーとそのご家族の方たちに聞いていただきました。

自分たちもまだまだ若いと思っていましたが、遺産相続など考える
歳になっていました。

メンバーの親御さんたちも年々ご高齢になっていき、自分のことは
もとより子供たちのこれからが心配だと話される方たちが多くなっ
てきました。

難しいお話というよりは分かり安く、そして普段どこに相談したら
よいか分からないことをゆりかごとしては皆さんへ“相談できると
ころ”への道を作った形になりました。

初めのことばと、終わりのことばはメンバーYさん
とメンバーS君が立派にしてくれました。
総会終了後はお楽しみのお茶会とお喋り。

そして今年も滞りなく終わりました。

出席して下さったみなさま、
ありがとうございました。



— 今年もがんばるぞー！のお楽しみ会色々 —

♡ 1月 新年会



新年あけましておめでとうございます



そのあとはカラオケです！それぞれ数人

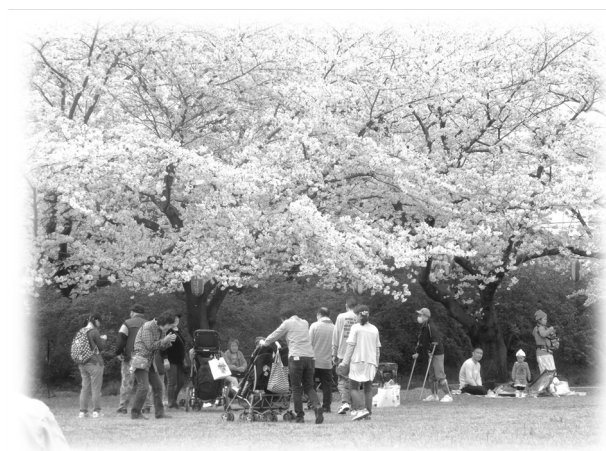
☆ 3月 焼肉☆食べ放題ッ！！—



春の特別企画 焼肉食べ放題！



✿ 4月 お花見—



行田市の水上公園にお花見に来ました。



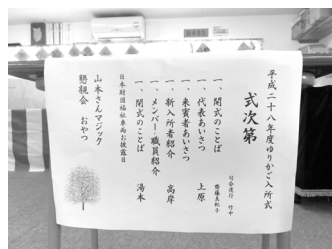
ちなみに前日は雨だったんです。

—2016 年度 新メンバー入所式 & 日本財団福祉車両お披露目式—

♡ 入所式



今日からいよいよ新年度！
入所式をおこないます。



ちょっと早く準備できたので、施設
長の突発ライブ！
第三者委員の森田さんも一緒に。



今日から、新しい仲間が増えました。
みなさん、仲良くしてくださいね！
素敵な挨拶をしてくれたんですよ！



先輩方からの歓迎のお言葉も。
うわあ、わたしセンパイになっちゃったんだ。
なんか緊張するなあ。



ボランティア山本さんの不思議な不思議な手品の時間~~~~~！
楽しいトークと、心あたたまるマジックショーでした。
いつもありがとうございます！

♡ 日本財団 福祉車両お披露目式



日本財団さまから福祉車両の助成がありましたので

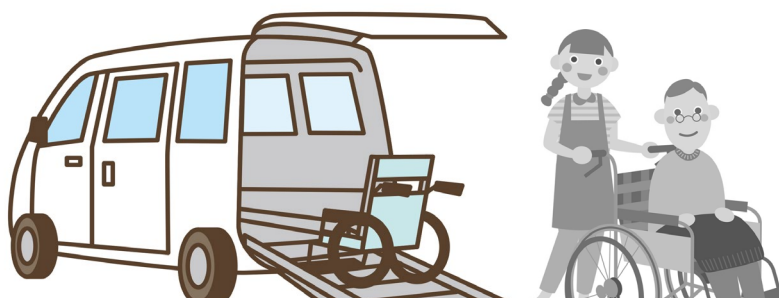
その車両のお披露目式も行いました。

色鮮やかなイラストを配したピカピカの新車！みんなワクワクです。

スロープ&リモコン操作のベルト巻き上げ式なのですが、職員一同、まだ扱ったことがなく、みんな興味津々。いろいろ操作しているうちに、「あーこうやって使うんだあ」「あ、これは便利よねえ」ですって！

さっそく日々の送迎に使用させていただいております。

ありがとうございました！



ー フライ販売&募金活動 in おにっこまつり ー



おにっこまつり、まだ5月だというのに暑いくらいの良いお天気の日曜日、販売と募金活動で参加しました。

販売は場所が決まった時トイレの横と聞いて「え～っ！」と思いましたが、行ってみるとよく目立つ最高の場所でした。

販売班は朝早くから準備し、暑い中お客さまをお待たせしないようせっせと焼きドンドン売っていました。

販売班も熱中症にならないよう注意しながら・・・

フライは今回も好評でお昼過ぎには売り切れちゃいました。



募金活動のメンバーと職員は日に焼けないよう、熱中症にならないよう日陰を探し熊本地震のための活動を2か所で始めました。

手作り募金箱とタスキをかけたメンバーの「お願いしま～す」の声で



たくさんの方が気づいて下さって募金をしてくださいま

みなさん色々なところで募金をされていると思いますが、気持ちよく入れてくださいました。

振込先はメンバーのYさんが色々検討し探してくれました。

おにっこ祭りでの集まった募金金額 17932円 でした。

その後、ゆりかごで集まった金額を足して、合計 25115円 振り込んできました。

小さな小さな力ですが、みんなの温かい気持ちを届けました。



— 調べてみた熊本地震 & 募金振込先 —

4月14日より発生した熊本地震では70人余りの方々がお亡くなりました。まずこの方々のご冥福をお祈りいたします。(関連死の疑いを含む)

さて今回の地震は気象庁の専門家も慌てているほどの珍しい起き方をしました。

今回の地震は4月14日の夜の方が前震だったのです。

そして16日未明に起きた方が本震だったのです。

約28時間をおいて本震が起きるのは内陸型地震ではほとんど無いというのが専門家の間の常識でしたが今回はその常識をみごとに覆す結果になりました。

専門家の間では別々の断層が動いたんじゃないかというふうに言われています。地震の起き方には2種類があるのはご存知かと思いますが。

5年前の東日本大震災は海溝型地震で津波を起こして多大な被害が起きました。

海溝型地震の場合は海側のプレートが陸側のプレートの下に潜り込む形でひずみという地震のエネルギーがたまりそれが限界に達すると地震が発生する事になります。

それに対して今回の熊本地震は活断層が動いたことによる都市直下型地震です。

今回と同じタイプは21年前の阪神淡路大震災で6,436人の死者が出ています。

活断層というのは人間にたとえると傷みたいなので、うずき方が悪い場合は身震いみたいになりますがそれが地震ということになります。

活断層による地震は1,000年単位なんですけど都市直下のために被害が大きくなるといわれています。

なお、わがゆりかごの方でも手作りの募金箱を作り5月のおにっこまつりやゆりかご内等で募金を募りました。

そして募金の振込先について上原代表理事から調べてくれといわれて調べてみました。

そして募金は7月21日に被災地の障害者団体の銀行口座に振込みました。

最後に、被災地の一日も早い復興をご祈念申し上げましてこの記事を書かせていただきます。



文・ メンバー山岸 裕光

— 避難訓練 —

6月9日（木）に今年度1回目の避難訓練を実施しました。
地震発生で机の下にもぐり、その後出火し外へ避難する。
という設定で行い、消火器を手に取り、消化の練習や実際に非常ベル
を鳴らし外へ避難しました。

頭隠して尻隠さず のカワイイ姿のMちゃん、不自由な身体で机の
下にもぐろうと頑張るGさん、照れながら参加するSさん、真剣な面
持ちのS君等々、みんなそれぞれに対して職員はつつい微笑まし
く見てしまいます。

実際はこんな悠長なことは言っていないのですが、あくまでも訓
練！楽しんでしまいました。

次の避難訓練は秋ごろ実施予定です。



あら、あら、お尻が出
てますよう。



防災頭巾を被って～



外に出たら点呼しますよ。
お隣の人はいですか～？



熊谷特別支援学校に毎月 1 回、深谷はばたき特別支援学校には 2 ヶ月に 1 回フライの販売に行っています。

施設でフライ・フライドッグを作り、保温箱に入れて出かけます。職員と一緒に行くのは特別支援学校卒業生です。販売に行くよりというよりも大好きな先生に会えるのが楽しくて、朝からそわそわ・わくわく・うきうきして、伸びきった顔のまま出かけます。

熊谷特別支援学校に行くのは、元生徒会長の Y くんです。頭の回転が速いので、先生と受け答えをする接客をし即完売になります。

深谷はばたき特別支援学校へは M・M ちゃんコンビが行きます。二人は可愛い笑顔での接客です。学校に着くと、「M ちゃん元気だった～」と先生が駆け寄ってきてハグをしてくれます。みるみるうちに、二人とも施設では見たこともないようなニコニコ顔になり先生と接しています。その天使の笑顔は先生の心をわしづかみにし即完売です。

特別支援学校への販売は、あまり変化のない施設での生活がリフレッシュされる販売場所なので、これからも続くことを願います。



— 突然のお別れでした

今までありがとう —



職員 「明日からゴールデンウィークだね、
どこか行くの？」

妙子さん 「うん、自転車で行こうかなー」

職員 「気をつけて行ってね。またね！」

妙子さん 「はい、ありがと！〇〇さんもゆっくり休んでね！」

いつも通りの帰り際の挨拶でしたが「またね」の言葉通りにはなりませんでした。

連休明け、いつものようにお迎えに行きました。玄関先の自転車、本人の姿がありません。
気になりながらも取りあえずゆりかごに戻り、再度お迎えに行きました。

メンバーJさんから、ラジオで交通事故のニュースを聞き、もしかしたら妙子さんの名前
だったかも。という情報が入り、新聞で事故の確認をしました、がまだ信じられず不安と
心配の気持ちでいっぱいでした。

不安は的中してしまい、5月1日夕方、自転車に乗った妙子さんと車が衝突し妙子さんが
帰らぬ人となってしまいました。

山下妙子さん享年64歳。ゆりかごに来て4年でした。

自分の気持ちをうまく伝えるのがちょっと苦手だった妙子さん。



入ったころはぶっきらぼうな話し方で個性的な存在でしたが、少しずつメンバーや職員に
も慣れてきて、妙子さん本来の何事にも一生懸命で、意欲的で、明るくはっきりした性格
が発揮されてきました。

仕事は人一倍真面目に取り組み、バリ取り作業、花植えや草取り、ハローワークの掃除、
ダンボールやアルミ缶の回収と何でも「ハイ、やるよ」と引き受けてくれ、困った時の妙
子さん頼みでとても助かりました。

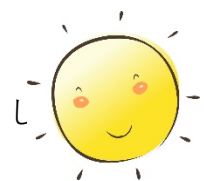
妙子さんがいなくなり、改めて存在の大きさに気付かされています。

唯一部屋の片付けが苦手だった妙子さん。見るに見かねて職員で片付けに行きました。玄
関を開けて職員一同口をあぐり！物であふれかえった玄関から他の部屋に行き着くこ
とができない状況でした。

2日かかりで片付け、どうにか寝る部屋、食べる部屋を確保し、お台所、トイレを清潔に
して使えるようにしました。

きれいになった部屋をみて妙子さんの一言。

「本当にここに住んでいいんだべか？」なんとも微笑ましい妙子さんで



アリガト！！アリガト！！を連発してくれ、ゆりかごのことを好きだと言っ
てくれた妙子さん。

もっともっと妙子さんに何かして上げられる事があったんじゃないかと心残りに思ってい
ます。

妙子さん今まで笑顔と元気をありがとう。

思い出が山ほど・・・



納涼祭

8月25日 納涼祭



9月14日 バス旅行

新聞・段ボール・
アルミ缶等を提
供くださる皆さ
まありがとうございます。
これからもよろ
しくお願い致しま
す。



フライドッグ・フライ販売

ゆりかご前販売
毎週火曜日
11時～2時



移動車販売

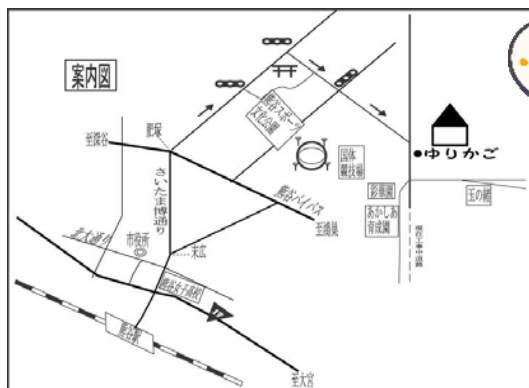
だもんね・第3水曜日

聖天山朔日市・毎月1日

電話での予約注文受け付け
ます！ ☎25-9290

賛助会員募集中

年会費・1口1000円～
会報を送らせて頂きます。



古新聞



ダンボール



ご協力お願い
いたします。

連絡をいただければ取りに伺います。



古雑誌



アルミ缶

編集後記

今年も毎年同じように当たり前に夏が来ました。

同じ事が当たり前にやってくるのに、彼女は当たり前なことができなかった。

ゆりかごが始まってから7人の方が旅立ってしまいました。

突然に逝ってしまったのは彼女ともう一人。

突然というのはとてもあっけなく淋しく、私たちは途方に暮れてしまいます。

ゆりかごでお線香やお花をあげ、命日にはお墓参りをします。

これからも故人を偲び、たまに思い出話もしましょう。

心からご冥福をお祈りいたします。

